

令和2年度

# 学校評価報告書

練馬区立石神井南中学校

## はじめに ～校長見解～

学校評価アンケートへのご協力をいただきありがとうございました。

今年度は、行事や授業公開、保護者会等、学校へお越しいただく機会がほとんどありませんでしたが、その分、例年より多くの自由記述をご記入いただきました。

いずれも大切な意見であり、その一つ一つに対する回答を考えた結果、長い文章となってしまいました。

まずは全文をお読みください。そして、これを契機として、よりよい石南中を創っていくための意見交換が活発になされるようになっていくことを願っています。

なお、個人が特定される案件については、個別にお話しいたします。記名でないため、こちらから連絡できませんので、遠慮なく校長までお問い合わせください。

---

### 【自由記述】

A 「いつも決まった子どもが寝ており、どうにかしてほしい。」(保護者)

**分かりました。**

**ご要望にお応えして、授業中は絶対に寝かさないように声をかけ続け、それでも眠ってしまうような短時間の起立をさせ、眠れないようにします。**

B 「授業中に寝ている人への対応が先生によって違うので気になる。」(生徒)

**分かりました。**

**要望に応じて、授業中寝ている生徒に対しては学校全体で厳しく指導していきます。**

**「学校のきまり」にも新たに『授業中寝てはいけない』という規定を設け、違反した場合には罰則をもって対処するようにします。**

C 「授業妨害をする人にペナルティを与えてほしい。」(生徒)

**分かりました。**

**要望に応じて、授業妨害をする人にペナルティを与えます。**

D 「下着の色が白である決まりに疑問。自由と責任を考えさせるのも教育のはずである。」(保護者)

**分かりました。**

**ご要望にお応えして、下着の色の規定を撤廃し、自由と責任を考えさせます。**

E 「シャツを出していたり、髪型がおかしかったりする人がいる。生活委員を強化すべき。」(生徒)

**分かりました。**

**要望に応じて、シャツを出していたり、髪型がおかしかったりする人に対する生活委員による指導を強化します。**

F 「校則を緩めてほしい。学校側がいじめを作っていると分かってほしい。」(生徒)

**分かりました。**

**要望に応じて、校則を緩めることでいじめをなくしていきます。**

ここまでお読みになって、「あれ？」と思われた保護者、また生徒も多いことでしょう。「一体何を言っているんだ？」と。私も、さてどうしたものかと思案投首でキーボードをたたく手が止まってしまいました。

厳しい規則を学校が厳格に運用してほしいという意見と、個人の自由と判断に任せるべきであるという考えがあり、一方の要望に応えると、それは他方の要望と相反するものとなってしまいます。いきおい、両立させようとするとうとうしても矛盾が生じてしまいます。つまり、全ての要望に100%応じることは不可能です。

そこで大切なことが、意見交換と、歩み寄りです。

一人一人の思いや考えは、それぞれが大切にされなければなりません。その意見表明の権利を守ることは、民主主義の根幹をなすものです。

学校は、未成年である子供が、一人立ちして生きていく力を育み、知・徳・体ともに成長していく場です。時に失敗をすることも学びの要素です。

そうした中、学校で守るべきことは、人権に基づいた民主主義です。何人たりとも人権を脅かされることなく、自由に意見を述べ合い、自己と他者を共に認め、よりよい社会の一員としての諸々の生きる力を身に付け、義務教育が修了となるのです。

ここで確認しておきたいことが、子供の学びは「権利」であるということです。授業中寝てしまうということは、まさに「学びの権利」の放棄に他なりません。誤解を恐れずに言うならば、生徒の「権利」の行使を教員が強制できるものではありません。もちろん、学校としては、全ての生徒が主体的な意欲をもって授業に臨む手立てを、引き続き最大限講じていきます。そうした中、「授業妨害」をして他者の「学びの権利」を奪うことが許されないことは言うまでもありません。

一方で、「義務教育」の義務主体は保護者です。つまり、学校の授業を一生懸命に受けさせることは、保護者の務めであるはずですが、そうはいつでも、中学生ともなると一筋縄ではいかないのが現状で、故に頭を痛めている家庭も多くあるのでしょうか。

こうして考えると、前述A・Bの要望に対する答えも見えてきそうですが、さらに深く考察をすれば、また別の視点も考えられます。例えば、本人は一生懸命やりたいのに、それができない状況です。要因として、体調や、あるいはプライバシーに関わることがあるとすると、ここで言及することはふさわしくありません。授業中寝ているという事実に対して、背景にまで思いを馳せながら、必要に応じて配慮し、個々に対応していくことが、学校という教育の場としては必要であり、かつ当然であるということを理解してください。

その上で、良い意味で自分は自分として、何事にも最善の努力を惜しまぬ姿勢をもって臨むことと、他者への思いやりと寛容の気持ちをもって接しながら、共に生活していくということを、教室という一つの社会の中で普通にできるようになっていけば、結果としてそれが「いじめ」の根本的な解決につながっていくのではないかと考えます。

「いじめ」は、「多様性」の対極にあるものです。個としての一人一人が、確かに自己を確立し、同時に他者を認めながら互いに協調性をもって生きていく社会がすなわち「多様性社会」なのではないでしょうか。それを理想とし、実現できたなら、それは自ずと「いじめ」のない社会となるのではないのでしょうか。

その理想は、現状の学校教育(本校も含めて)の中で、自然な流れに身を任せていては、なし得るものではありません。一人一人が「多様性社会」をはっきりとイメージし、そうした社会を創るのは自分であるということを強く意識し、自己肯定と他者容認を自然とできるように考え、判断し、実践していくことが、今、すべきことであると考えます。

また、本校では「自治の心を育てる」ことを念頭に教育活動を行っております。当然「自由と責任」についても折に触れて生徒に考えさせております。子供たちがやがて実社会に出たとき、数多の法律・条令等の中で生きていくことを知るようになるわけですが、学校生活においては、集団生活の規範としてのルールを順守することと、その意識を涵養することも、大切な学びの一つです。何もない空間に放り出されたら、どちらに行ったらいいのか途方に暮れてしまうことでしょう。ある程度の基準を示すことで、それを起点あるいは根拠としながら、「自由と責任」についても初めて考えることができるのではないのでしょうか。

人種・男女・障害・LGBTQ他、様々な人権問題がこれだけオープンになってきた時代にあって、多様性を認め合える社会を創っていくのは、まさに今の子供たちです。一人一人が真に自立した個として、寛容な心をもって自他を共に認め、その人生をより豊かにしていける力を付けさせたいと願っています。子供がしっ

かりと分別のつく大人になるまでは、保護者も教員も、時には厳しくただしながら、温かく余裕をもって見守っていきたいと思います。

今回の自由記述意見を通して、改めて生徒・保護者の多様な考えを知ることができ、有意義なアンケートであったと考えます。今回示した回答は、その全ての納得を得られるものではないと思います。まだまだ検討の余地のあるものがたくさんあります。その一つ一つの「最適解」を見出すために、相手の言葉をしっかりと聞いた上で、寛容の心をもって互いに歩み寄ることが、多様性を認めあうことのできる社会を創っていく道筋であると考えます。

生徒が自身で考え、保護者と教員が大人として関わっていくことで、石南中の生徒たちが、よりよい成長を遂げていけるよう、ぜひ、お声をお聞かせください。

以下、感想の後に、意見・要望と回答を記載します。これでおしまいではなく、これを機として、生徒、教職員、保護者の対話がさらに進み、理想の中学校となっていくことを願っています。

## 《 感想 》（保護者）

< 1年 >

- 学校公開もない中、学級通信によって子供たちの様子が分かり感謝している。
- 毎日授業も楽しく、登校するのが楽しみだと言っており、それが一番ありがたい。
- 休んだ日に先生から電話を頂きありがたい。
- 部活で熱い指導をしていただき楽しく活動している。

< 2年 >

- コロナ禍による学校行事の縮小は、致し方ない。
- 学校、クラス全体の雰囲気が良く、心配していない。
- 子供から配布物を全て受け取っていないと思われるが、現状には満足、感謝している。

< 3年 >

- コロナ対策に感謝している。
- コロナに対する学校の判断は正しいと理解している。
- 運動会を参観できずに残念だった。
- 運動会の無観客について、子供は緊張しなくて良かったと言っている。
- 三年間、安心して通える学校に感謝している。
- 先生方がとても熱心で温かく、生徒との信頼関係が確立されていると感じる。
- 保護者にとっては、子供が安心して通える学校が何よりである。

## 《 感想 》（生徒）

< 1年 >

- 先輩方が優しい。
- 先生が優しいので話しかけやすい。授業が楽しく、分かりやすい。
- 学校は友達に会えるから楽しい。
- 学校は、楽しい時もあれば楽しくない時もある。

< 2生 >

- 学校は楽しいが、たまに行きたくない。

< 3年 >

- いつもありがとうございます。
- 石南中には良い人がたくさんいる。

## 《 質問・要望 》（保護者）

< 1年 >

- 「コロナに関する事案発生の際には迅速かつ的確な対応をお願いしたい。」  
**迅速かつ的確な対応を継続していきます。**
- 「学校生活の様子、お便り等配布物をHPで小まめにアップしてほしい。」  
**学校生活の様子については随時更新に努めます。配付物については必要に応じて配信いたします。**
- 「今年は学校を訪れる機会が少なく、先生の様子、施設の様子、雰囲気など不明点が多い。」  
**学校HP等での発信機会を拡充していきます。**
- 「普段感謝しているが、様子が分からず不安。顔を知り、話をし、情報を共有したい。」  
**学校公開や行事、また保護者会等でお越しいただく機会が一日も早く復活する日を願っています。  
電話でも結構ですので、お声をお聞かせください。**
- 「家庭学習が定着しておらず、小テスト（英単語や漢字）があれば助かる。」  
**宿題が多いという声もあります。教科ごとに精査し、学力の定着・向上に必要なものを検討していきます。**
- 「ITが遅れているように思える。再び臨時休業になった時に不安である。」  
**タブレット配付に伴い、利活用の推進を図っていきます。**
- 「不登校生徒への対応例（別室登校、学習支援）が少ないのでHP等で紹介してほしい。」  
**高度な個人情報に関わるものもあり、慎重に対応していきます。**
- 「標準服は着なれないからという理由でジャージ登校しており、寒さが心配である。」  
**新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえながら、冬季の服装や校内の寒さ対策については柔軟な対応を策定いたしました。  
標準服については、着なければ着慣れるということはありません。着用して慣らしていくようにさせていただきます。**
- 「下着の色が白である決まりに疑問。自由と責任を考えさせるのも教育のはずである。」  
**本校の規定は、『アンダーシャツ（Tシャツ）』についてのものです。ワイシャツの下に赤いTシャツで面接試験を受ければ、大方の面接官は違和感を抱くことでしょう。多様性の広まった時代であるからこそ、標準を示すことも必要であると考えます。**
- 「スマホを『悪』として捉えているかのようなお便りにがっかりした。」  
**スマホ等の利便性及び現代における必要性和、SNS等の使用における危険性（いじめ・人権問題・犯罪等の被害／加害）は表裏の関係にあります。2月には全生徒・保護者対象の「情報モラル講習会」を実施いたします。生徒に対しては学校の責任、お子様に対しては家庭の責任として、全世界に広く、深く根を張ったSNSを、賢く扱い、きちんと利用できるように、学校と家庭で共に子供を育てていきましょう。**
- 「我が子から総合学習の報告がない。進路選択が親、塾任せになるのではないかと不安。」  
**進路指導に関しては、昨今では、本人と保護者が自身でよく調べる活動も必須となっています。そうしたことも踏まえ、3年間を見通して学年進行とともに随時扱っていきます。**
- 「規制が多いのは承知の上で、運動会以外に生徒が自主性を発揮する場が少ない。」  
**さまざまな制約の下、本校生徒は変わらず係・当番活動や委員会・生徒会活動等に主体的に取り組んでいます。真面目に、素直に、一生懸命という石南中生の伝統は、日常生活においても育まれています。行事については、健康と命を第一に、今後も可能な限りのものを検討・策定していきます。**

< 2 生 >

- 「同質化ではなく、多様化を認めるような空気が必要ではないか。」

**多様化の進む現代においては、自己を確立するとともに、他者を認める寛容性を育むことが大切です。道徳授業で多様な意見を交換する機会を設ける等、本校でも多様化に即した生きる力を付けさせる教育を行っていきます。**

- 「受験とは関係のない新聞作りが多すぎる。予習、復習の指導にもっと力を入れるべき。」

**課題に沿って調べた個々の内容を論理的に構成し、文章として書き記す活動は、知識を単なる記憶から思考・判断・表現にまで展開させる高次の学習活動です。PISAの結果を受け、各種入試においては、単なる知識量を問う問題から、複数の条件を自分で組み合わせて読み解き、解答する力を図るものにシフトしてきており、新聞作成はそうした力を付けるためにも有効な活動です。**

**また、作成した新聞を互いに読み合うことで、多様な考えや思い、個性等に触れ、他者理解を深めるよい機会ともなります。**

**学校での学びは、受験も大切です。そして、集団生活における様々な体験を通して規範意識・社会性・協調性を醸成したり、知識ではない道徳性の涵養を図ったり、また、失敗を経験したり、成功体験から自己肯定感を高めたりすること等、いずれも人として成長するための大切な学びです。**

**今後ますます拡大・深化していくであろう多様性社会で生きていく力を育むための様々な学びの一環としての新聞作成であるということをご理解ください。**

- 「英検などの検定や進路に関する情報提供、進路指導をお願いしたい。」

**本校では各種検定（英検・漢検・数検）を準会場として実施しています。**

**進路については、学年進行に伴って必要な時期に随時・適宜情報提供を含めた指導を実施していきます。**

- 「各教室に加湿器を導入してほしい。」

**今年度、普通教室に導入しました。**

< 3 年 >

- 「いつも決まった子どもが寝ており、どうかしてほしい。」

**本人の意欲喚起を目指し、家庭の協力も得ながら指導していきます。**

**興味・関心を高める授業の質向上にも引き続き取り組んでいきます。**

- ・ 「せめて受験が終わった後、何か楽しい思い出作りができるよう、切に願っている。」

- ・ 「行事が次々に中止となり残念。日々の生活の中で、少しでも思い出を作してほしい。」

**3年生のために何かできないかと、年度当初からずっと、学年教員が代替行事の策定を行ってきました。新型コロナウイルスから健康と命を守るために、いずれも中止せざるを得ませんでした。申し訳ございません。**

**VR修学旅行と記念品作成を行います。少しでも思い出をもたせたいと、最後まで、何かできることはないか検討していきます。**

- トイレの前を通ると悪臭がひどい。

**状況確認と清掃の見直しをします。**

<同一項目への複数の意見>

[ 運動会 ]

- 「コロナ禍とはいえ、運動会の対応には疑問がある（当初から平日開催で良かった）。」（1年）
- 「運動会で子どもの雄姿を見られないのは残念だった。来年度は工夫して見せてほしい。」（2年）
- 「運動会を参観できずに残念だった。」（3年）
- 「運動会を条件付きで公開した学校もあると聞き、何か工夫はできなかったのかと残念。」（3年）

**今年度4.5月の一斉休校により大幅に変更した年間行事予定の進行状況を鑑み、年度末までの授業及び行事等の時数配分や日程等を全て勘案した上で、当初1学期に予定していた運動会を2学期の土曜日実施として再策定しました。生徒の学びの保障と行事実施については、常にその時々の最善を画策しております。**

**今年度の運動会実施に当たっては、昨年10月の時点で、既に23区内の家庭内感染増加の傾向が生じていました。そうした中、本校の校庭規模及び校舎配置においては、保護者参観席を設定すると生徒席のSD確保ができなくなり、また、参観者の安全なSD及び動線確保も難しい状況でした。保護者参観については最後まで可能性を探り、幾つもの案を検討・精査した結果、やむなく「無観客」といたしました。**

**万が一、保護者同士で感染した場合、それがお子様へ伝播し、さらに地域・学校へ広がる危険性を考慮した上での苦渋の判断であることをご理解ください。**

**今後の新型コロナウイルスの収束状況により、次年度の実施方法等について改めて策定していきます。**

[ 部活動 ]

- 「運動部の種類を増やしてほしい。」（1年）
- 「先生方の負担にならないよう、外部人材を活用して、部活動に力を入れてほしい。」（2年）

**生徒の安全を確保し、充実した活動ができるように、顧問の複数配置を基本とし、さらに外部人材の配置を進める中、現状として部活動の新設は難しい状況です。**

**平日の午後4時から6時まで、中学生の指導可能な方がいらっしゃいましたら、副校長までご紹介ください。**

## 《 質問・要望 》 (生徒)

< 1年生 >

- 「校舎をそろそろ建て替える時期なのではないか。」  
**練馬区教育委員会が、区立小中学校98校の中で検討していく内容です。**
- 「土曜授業の回数が多い。」  
**今年度は、4.5月に休校となった分の授業時数を確保するための措置です。  
練馬区は、通常年間8回の土曜授業です。**
- 「掃除は昼休みの後にしてほしい。」  
**午後の授業時間を遅くしないために、現行のまま変更はしません。**
- 「プロジェクターの下が影になって光が当たらず見えにくいことがある。」  
**改善するために、具体的な状況を先生に伝えてください。可能な限りの対応を考えます。**
- 「理科の授業で、モニターの文字が見えにくい。」  
**機器の不具合によるものか、設置状況によるものか、日差しや席の位置によるものか、詳細が分かりません。具体的に先生に伝えてください。可能な限りの対応を考えます。**
- 「モニターのペンの色は、緑や黄色だと後ろから見えにくい。」  
**基本的に使用しない方向で共通認識を図っていきます。**
- 「宿題の配布など、もっとデジタル化をした方がよいと思う。」  
**デジタル化については、必要かつ可能なものについて順次導入していきます。**
- 「黒板に書く文字が小さかったり薄かったりして見えづらい。」  
**教科担当の先生に申し出てください。**
- 「授業中に寝ている人への対応が先生によって違うので気になる。」  
**先生たちも共通認識をもって指導していきます。  
まずは自分が授業集中することです。そして、自分や周りの人が声掛けできるといいですね。**
- 「いろいろな人とコミュニケーションをとりたいので、もっと席替えをしてほしい。」  
**担任の先生に申し出るか、学級委員会宛に生徒会意見箱に投稿してください。**
- 「部活の数が少ない。」  
**生徒の安全を確保し、充実した活動ができるように、顧問の複数配置を基本とし、さらに外部人材の配置も進める中で、現時点では最大限の設置数です。**
- 「学校に来ていない人には、どのような指導をしているのか知りたい。」  
**欠席が続く仲間への思いやりは大切な気持ちです。個別の対応については、あなたも含め、すべての生徒について、そのプライバシーに関わることもあるので、回答いたしません。**
- 「生活のきまりで、髪を下ろしてもよいようにしてほしい。」  
**授業（教室・体育実技・実験・実習等）及び学校生活全般において、安全に、また、集中して臨めるように整えることを意図したものであることを理解してください。**
- 「シャツを出していたり、髪型がおかしかったりする人がいる。生活委員を強化すべき。」  
**生活委員会への要望については、生徒会意見箱に投稿してください。**
- 「校則を緩めてほしい。学校側がいじめを作っていると分かってほしい。」  
**校則が緩ければいじめがなくなるということでしょうか。それともいじめの原因は別の問題でしょうか。いじめのない学校、社会を創るために、話を聞き、議論したいと思います。  
いつでも、また、友達を誘ってもよいので、校長室に来てください。**



○「制服を変えてほしい。」

『標準服についての考えのアンケート』を年度内に実施し、広く考えを聞いていきます。

○「SNSについての指導にもっと力を入れた方がよいと思う。」

生徒・保護者対象の『情報モラル教室』を年度内に実施します。

使う自由と責任について自分自身でよく考え、友達や家族とも話題にしてください。

○「1か月に1回程度、掃除の場所を変え、違う場所を掃除したい。」

美化に関わることは美会委員会宛に、生徒会意見箱に投稿してください。

○「コロナが終わっても、学校はジャージ登校を可にしてほしい。」

標準服の着用が基本となります。

○「教室内をもう少し温かくしてほしい。授業妨害をする人にペナルティを与えてほしい。」

今しばらくは、[換気・室温・湿度]を常に意識しながら新型コロナウイルス感染拡大防止に努めましょう。

授業妨害は他の生徒の「学習権」の侵害であり、「自由と責任」の履き違いです。それをなくすために、やるべきことやできることを、学級でよく話し合ってください。できないからペナルティが作られ、ペナルティがあるからやらないというのは、「自治」の放棄ではないでしょうか。

○「学校の60周年記念祭を行ってほしい。」

次年度に検討します。

○「1年間に、先生方と相談できる会を何回かやってほしい。」

今年度実施した取組が好評だったので、次年度も検討していきます。

○「トイレの水が十分に流れない。」

担任の先生に場所を伝えてください。可能な限りの対処をします。

<2生年>

○「体育館に空調設備を入れる、冬に温水の水を出すなど設備を充実させてほしい。」

練馬区教育委員会が、区立小中学校98校の中で検討していく内容です。

○「宿題が多すぎる。」

学力の定着や向上に必要なものを各教科から出しています。

到底やれるはずのない量であれば検討する必要があります。具体的に先生に申し出てみてください。

○・「標準服でスラックスありにしたものの、上下が中途半端で着づらい。」

・「スラックス着用可となったのは嬉しいが、あいまいな点が多く着用しづらいのが残念。」

防寒・機能性の観点から、生徒の健康を考えて急遽導入した制度です。完全な実施については何カ月もの準備期間を要することを理解してください。

今後、より使い勝手の良いように、改善を検討していきます。

○「表と裏のギャップが激しい。学校外より学校内のことを重視してほしい。」

何についての指摘かが不明です。校長室まで話に来てください。待っています。

○「いじめや不登校の未然防止は生徒の心を開くことが大切のはず。」

これも大切なことです。いじめと不登校は一括りに論じることはできません。そして一つとして同じものはありません。ぜひ、校長室に来てください。話をしましょう。

○「昼休みに野球がしたい。」

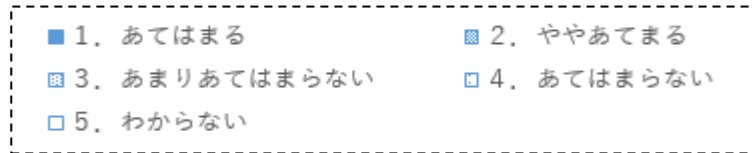
より多くの生徒が安全に活動するためには、許可できません。

- 「クラブチームに入っている人も、野球部に入部できるようにしてほしい。」  
**両立できるかどうかは個人の希望だけでなく、その部活動の方針や他の部員の考え、思いとも関係してきます。顧問や仲間、部員とよく話し合ってください。**
- 「前に、いじめの問題があったようで、解決してほしい。」  
**把握しているものはきちんと対応しています。先生たちの知らないことは教えてください。きちんと対応します。**
- 「生徒が挨拶をしたら、先生も挨拶を返してほしい。」  
**その通りです。**  
**石南中は挨拶がよい学校です。でも、全員が完全にできているかというと、そうではありません。君たちも、2、3人できているときに声をかけても、1人しか返してこない時もあったりします。**  
**さて、挨拶が返ってこないのはどういうときか。相手は気が付かなかったり、考え事をしていたりすることもあります。あるいは悩み事で頭がいっぱいということもあります。声を出して挨拶をするのが苦手だという人もいます。**  
**そこで、挨拶は「するべきだ」としてしまうと、よけいに心がギスギスしてしまいませんか。互いに気持ちよく生活していくためのものであるからこそ、「やらねばならない義務」としてでなく、「挨拶は、自分から気持ちよく」だけを心掛けてみてはどうでしょうか。**  
**皆が自然と挨拶を交わせる学校にしていきたいと思います。**
- 「北校舎4階のトイレで、流し忘れが多くみられる。意識的ではないかと思われる。」  
**中学校として、人として、情けないことです。生活委員会等で取り組む内容だと考えます。生徒会意見箱に投稿してください。**
- 「校庭が暗くて部活がしづらい時がある。」  
**施設上、改善は難しい状況です。**
- 「部活動の活動日が多い部と少ない部の差が激しい。多すぎて休めず負担になる。」  
**顧問の先生や保護者とよく相談してください。**
- 「トイレをきれいにしてほしい。」  
**状況確認と対応を考えます。**
- 「進路の情報をもう少し提供してほしい。」  
**必要な時期に随時進路指導を実施していきます。**

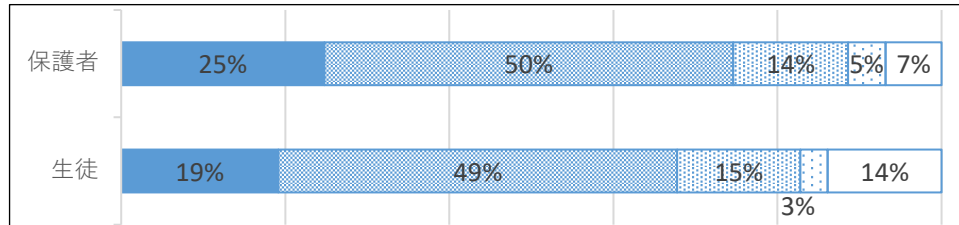
<3生年>

- 「体育館で使っていないボールを校庭用にほしい。」  
**まずは生徒会意見箱に投稿してみてください。**
- 「成績の付け方を改善してほしい。」  
**本校の評価・評定については、東京都教育委員会の規定に則り、練馬区立中学校校長会での審査を通してあります。**

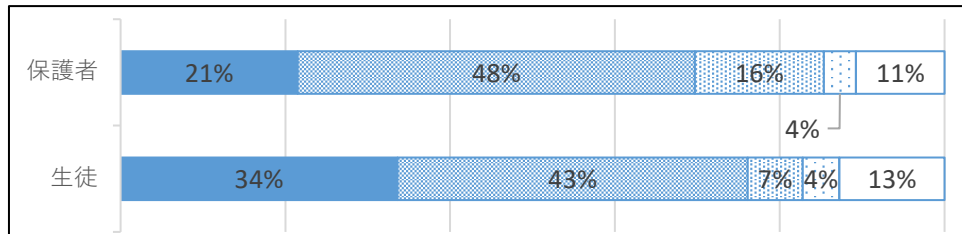
## ☐ アンケート集計結果



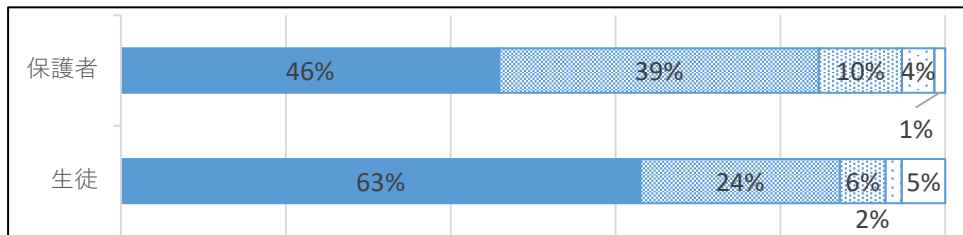
1 学校の教育方針や重点目標は分かりやすい。



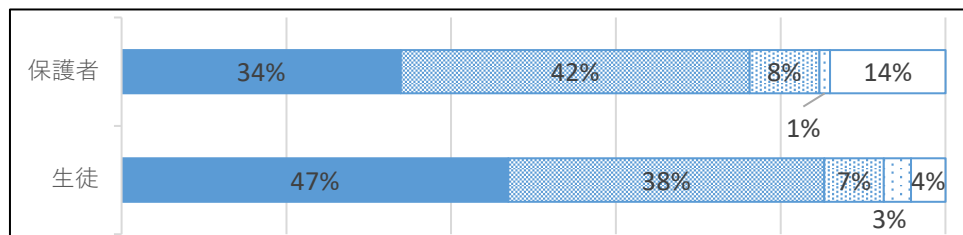
2 学校は特色ある学校づくり（小中一貫教育や数学習熟度別少人数）に取り組んでいる。



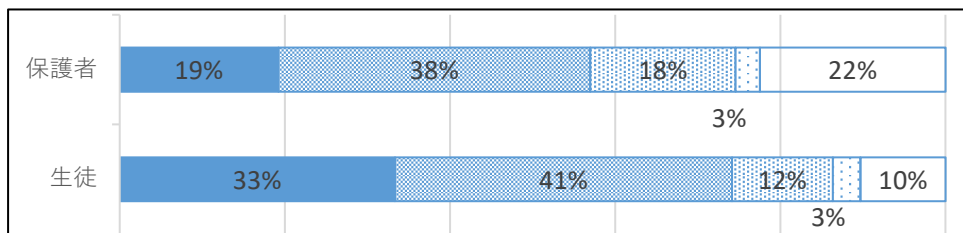
3 学校は学校だよりやホームページ、学年、学級通信などで学校の様子を知らせている。



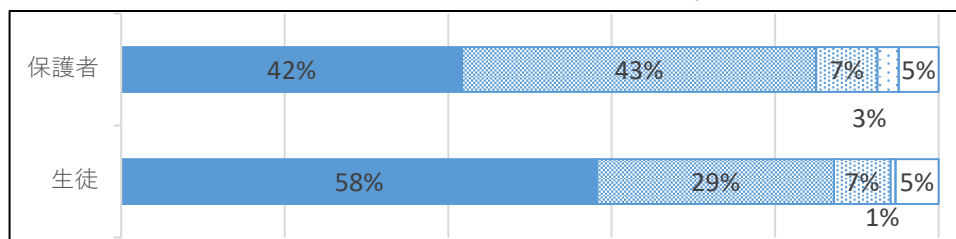
4 学校は清掃が行き届き、校内美化や生徒の安全確保に努めている。



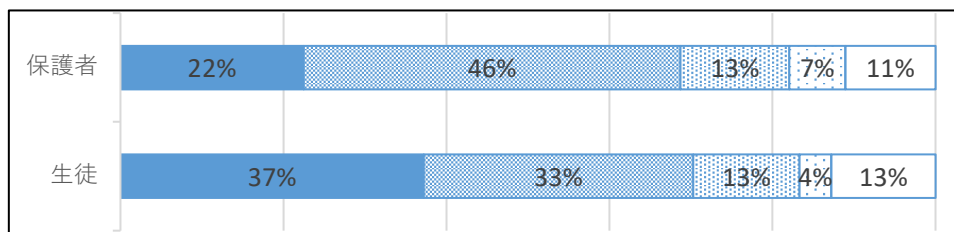
5 学校は分かる授業、学び合いのある授業等の授業改善に取り組んでいる。



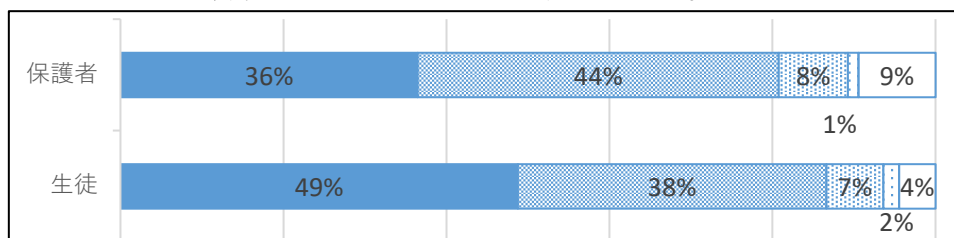
6 学校は評価・評定の規準や方法について説明している。



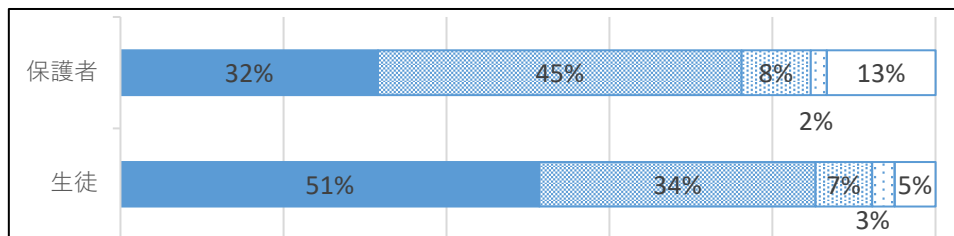
7 学校は生徒の学力を適正に評価している。



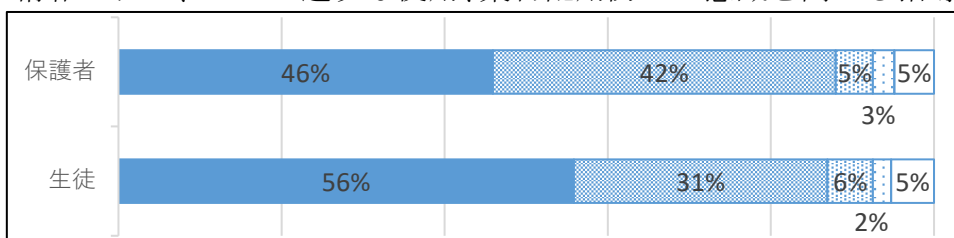
8 学校は基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。



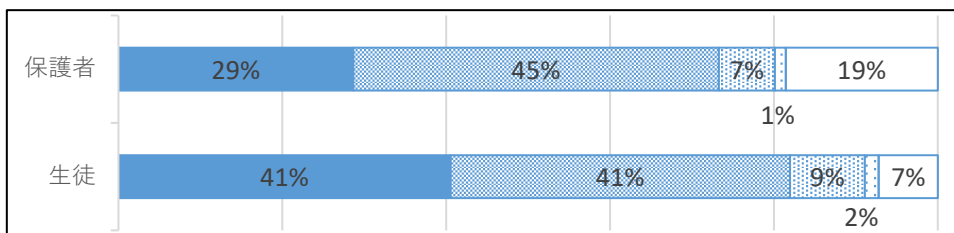
9 学校は社会生活における規範意識（やってはいけないことを思う力）を高める指導を行っている。



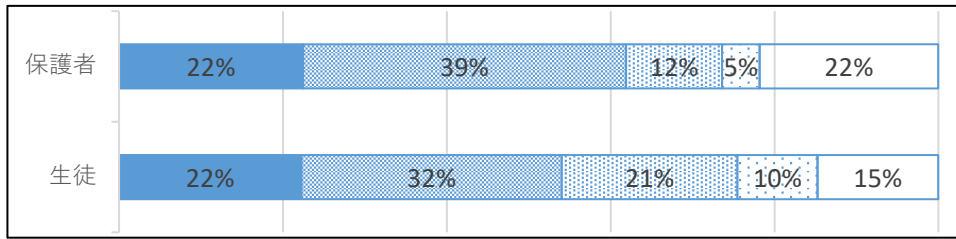
10 学校は情報モラル、SNSの適切な使用、薬物乱用防止の意識を高める指導を行っている。



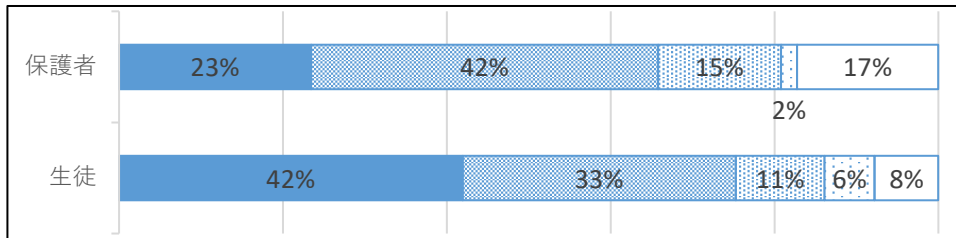
11 学校は道徳の時間を大切に、道徳の指導に力を入れている。



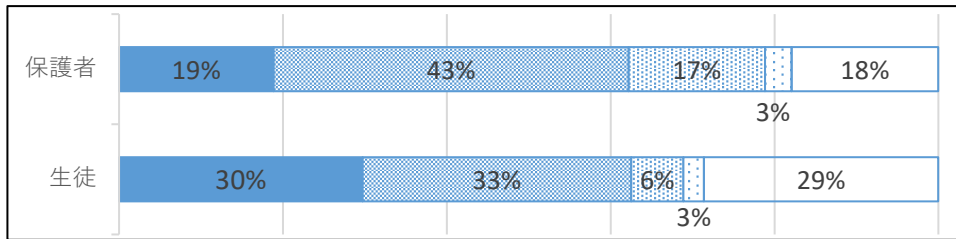
12 学校はいじめや不登校の未然防止に努めている。



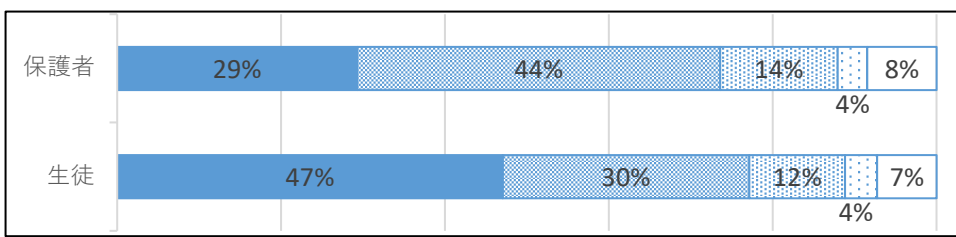
13 学校は生徒の悩みや相談に応える環境を整えている。



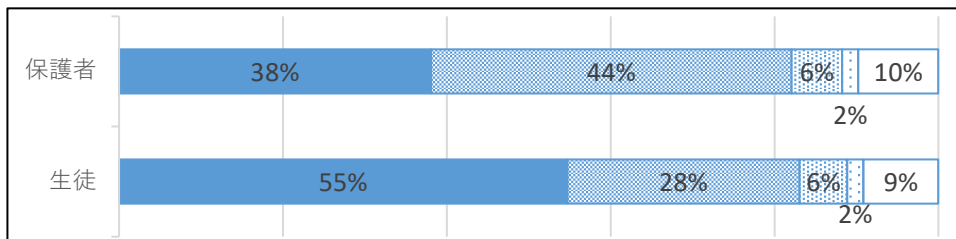
14 学校は進路の情報を提供し、適切な進路指導を行っている。



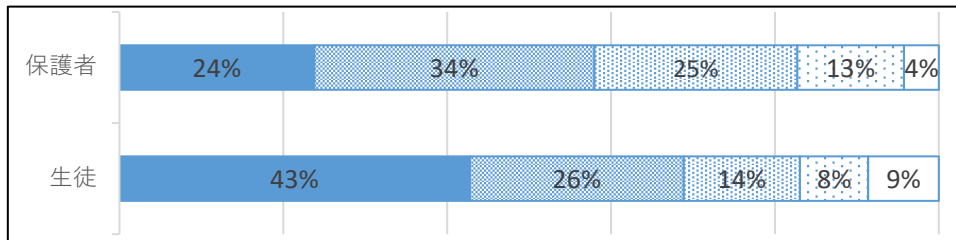
15 学校は運動会や文化発表会など、学校行事の充実を図っている。



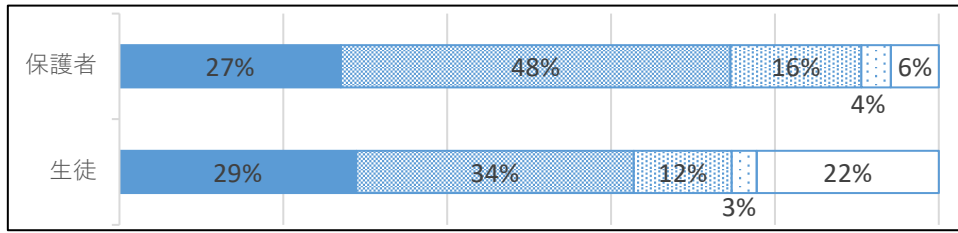
16 学校は生徒会活動や委員会活動など自主性を育てる指導を行っている。



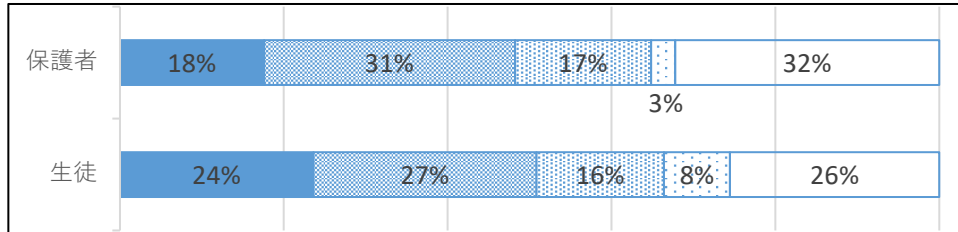
17 学校は部活動の充実を図っている。



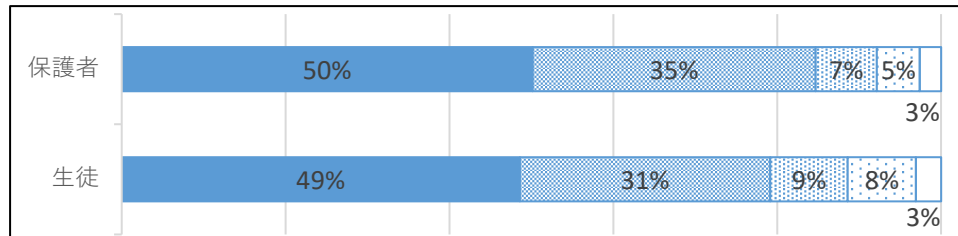
18 学校は保護者会や三者面談等を通じて家庭への連絡をきめ細かく行っている。



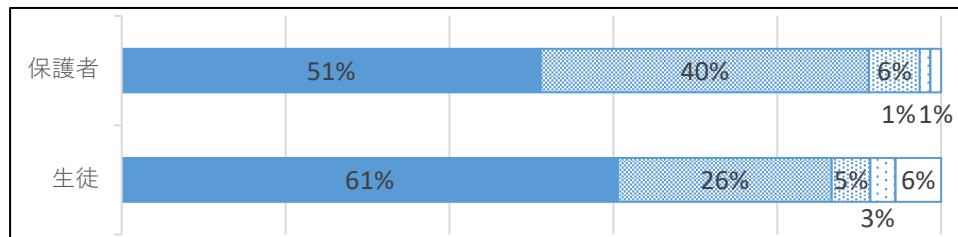
19 学校は地域の施設や人材を活用した教育活動を行っている。



20 自分は楽しく学校に登校している。



21 学校は安心して通うことができる。



※四捨五入の処理により、割合の合計は必ずしも 100%にはならない。

## 目 検証

- ・保護者からの回答は307名で、全校347世帯に対して回収率は88%であった。
- ・保護者、生徒のアンケートを併記し、比較を行った。「あてはまる」「ややあてはまる」を肯定的回答とし、その割合が「90%以上」「80%以上」「70%以上」「70%未満」の4領域に分類し、保護者と生徒の比較による検証を行った。
- ・保護者及び生徒の全体において「あてはまる」「ややあてはまる」を全体の肯定的回答とした。
- ・肯定的回答の割合を保護者と生徒で比較し、その差が大きい項目について検証を行った。
- ・評価の高い項目は今後も指導を継続し、評価の低い項目を中心に次年度に向けて教育内容を見直し改善していく。

1 [概要] ※ は、生徒と保護者の間に肯定的回答の差が5ポイント以上あるものを示している。

ア 全体の肯定的回答90%以上・・・該当なし	(単位%)		
	生徒	保護者	計
イ 全体の肯定的回答80%以上			
3 学校だよりやHP、学年、学級通信などで学校の様子を知らせている。	87	85	86
4 清掃が行き届き、校内美化や生徒の安全確保に努めている。	85	76	81
6 評価・評定の規準や方法について説明している。	87	85	86
8 基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。	87	80	84
9 社会生活における規範意識を高める指導を行っている。	85	77	81
10 情報モラルの適切な使用、薬物乱用防止の意識を高める指導を行っている。	87	88	87
16 生徒会活動や委員会活動など自主性を育てる指導を行っている。	83	82	83
20 自分は楽しく学校に登校している。	80	85	82
21 安心して通うことができる。	87	91	89
ウ 全体の肯定的回答70%以上			
1 教育目標や重点目標は分かりやすい。	68	75	71
2 特色ある学校づくりに取り組んでいる。	77	69	73
11 道徳の時間を大切にし、道徳の指導に力を入れている。	82	74	78
13 生徒の悩みや相談に応える環境を整えている。	75	65	71
15 運動会や文化発表会など、学校行事の充実を図っている。	77	73	76
エ 全体の肯定的回答70%未満			
5 分かる授業、学び合いのある授業等の授業改善に取り組んでいる。	74	57	66
7 生徒の学力を適正に評価している。	70	68	70
12 いじめや不登校の未然防止に努めている。	54	61	58
14 進路の情報を提供し、適切な進路指導を行っている。	63	62	62
17 部活動の充実を図っている。	69	58	64
18 保護者会や三者面談等を通じて家庭への連絡をきめ細かく行っている。	63	75	68
19 地域の施設や人材を活用した教育活動を行っている。	51	49	50

## 2 [ 考 察 ]

・上記結果で、生徒と保護者の間に肯定的回答の差が5ポイント以上ある項目の数は12項目ある。そのうち、生徒の肯定率の方が高い項目が8項目を占めている。また、50%前後の肯定率が2項目ある。(下記)

— 生徒の肯定率の方が高い項目 —	( 単位 % )		
	生徒	保護者	差
2 特色ある学校づくりに取り組んでいる。	77	69	8
4 清掃が行き届き、校内美化や生徒の安全確保に努めている。	85	76	9
5 分かる授業、学び合いのある授業等の授業改善に取り組んでいる。	74	57	17
8 基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。	87	80	7
9 社会生活における規範意識を高める指導を行っている。	85	77	8
11 道徳の時間を大切にし、道徳の指導に力を入れている。	82	74	8
13 生徒の悩みや相談に応える環境を整えている。	75	65	10
17 部活動の充実を図っている。	69	58	11

### — 肯定率50%前後の項目 —

12 いじめや不登校の未然防止に努めている。	54	61
19 地域の施設や人材を活用した教育活動を行っている。	51	49

### ○ [ 2 特色ある学校づくり ] ( 昨年度 生徒79 保護者69 )

「ふくのカプロジェクト」「CAP50」といった環境に関わる活動や、生徒提案による「挨拶運動」、また2年連続で表彰を受けた「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」の取組などは、本校の特色として生徒たちが認識しているものである。

### ○ [ 4 校内美化 ] ( 昨年度 生徒87 保護者88 )

保護者回答のうち、『分からない』が昨年度3%に対して今年度は14%と大幅に増加している。新型コロナウイルス感染防止対策のために、学校へ来る機会がほとんどなかったためと思われる。校内美化に関しては、感染拡大防止のための消毒等、できうる限りの手立てを講じている。

### ○ [ 5 分かる授業 ] ( 昨年度 生徒76 保護者60 )

保護者回答のうち、『分からない』が昨年度16%に対して今年度は22%の結果となっている。学校公開をできなかったためと思われる。昨年度9月以来、ICTを活用した授業改善に取り組み、各教科で分かる授業への改善推進に努めてきた。今後さらに教員の授業力向上を図っていく。

### ○ [ 8 基本的な生活習慣 ] ( 昨年度 生徒88 保護者84 )

5分前行動・身だしなみ・TPOに応じた行動と言動・忘れ物・提出物等、社会生活を送る公共の場としての学校における基本的な生活習慣については、日々指導を怠りなく行っている。「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめとした生活リズムに基づいた基本的な生活習慣は、家庭での躰によって育まれていく。家庭と学校で共通認識の下、子供たちの健全育成に努めていく。



○〔 9 規範意識 〕（ 昨年度 生徒 8 9 保護者 7 9 ）

保護者回答のうち、『 分からない 』が昨年度 9 %に対して今年度は 1 3 %の結果となっている。

「 10 情報モラルの適切な使用、薬物乱用防止の意識を高める指導 」( 今年度 生徒 8 7 保護者 8 8 / 昨年度 生徒 9 8 保護者 9 0 )は昨年度より数値は下がったが、生徒の肯定割合が高く保護者は比較的低い傾向は変わらない。

「 8 基本的生活習慣 」ともに、生活指導面での柱となる項目であり、引き続き丁寧な指導を行っていく。

○〔 11 道徳 〕（ 昨年度 生徒 9 1 保護者 7 3 ）

昨年度に比べ生徒の肯定割合が 9 ポイント下がった。

自己肯定感・他者への寛容といった道徳性を育むことで、主体性をもつと共に多様性を認め、ひいてはいじめのない社会を形成していく力をつけさせるために、今後も道徳授業を計画的に行っていく。

○〔 13 相談環境 〕（ 昨年度 生徒 7 6 保護者 6 1 ）

保護者回答のうち、『 分からない 』が昨年度・今年度共には 1 7 %の結果となっている。

生徒は比較的相談しやすいと捉えている。今後も、心配事には親身になって一緒に考えるという姿勢を示し、いつでも話を聞いて相談に応じる体制を継続していく。

○〔 17 部活動 〕（ 昨年度 生徒 7 0 保護者 5 4 ）

生徒の安全かつ有意義な活動を保障するためには顧問の複数配置が必要であるが、組織編成及び勤務時間等の関係から全ての要望を満たすことができない現状である。今後も「 部活動ガイドライン 」に則り、よりよい方策を講じていく。

○〔 12 いじめや不登校の未然防止 〕（ 昨年度 生徒 6 5 保護者 5 7 ）

保護者回答では、昨年度に比べて『 肯定割合 』が + 1 ポイント、『 分からない 』が + 3 ポイントのアップで、ほぼ変わりなかった。対して生徒回答では、昨年度に比べて『 肯定割合 』が - 1 1 ポイントと大幅に下がった。また、『 分からない 』については昨年度 9 %から今年度 1 5 %と、6 ポイント増加している。

今後、生徒自身が考え、実践する機会の拡充を図っていくことが課題である。

なお、いじめと不登校を一括りに考えることはできないので、次年度は別項目とする。

○〔 19 地域の施設や人材活用 〕（ 昨年度 生徒 5 6 保護者 5 2 ）

今年度、地域人材の活用により、「 地域未来塾 」として放課後の学習機会を設定した。今後さらに拡充を図っていく。